

令和7年度 新高岡駅利用促進の事業方針 ～「選ばれる駅」となるための交流拠点性とまちの魅力の発信強化～

令和7年3月に北陸新幹線 長野～金沢間開業10周年、金沢～敦賀間開業1周年を迎えた。この間、北陸地域と首都圏・関西圏との移動利便性が継続的に確保されていることにより、北陸新幹線の利用者数は開業以来最多となっている。首都圏や関西圏等からの旅行者などから、新高岡駅が呉西・飛越能地域の玄関口として「選ばれる駅」となるよう、交流拠点性のポテンシャルの高さや自然・歴史といったまちの魅力の情報発信を強化するとともに、インバウンドを対象とした高付加価値商品等の販売促進、個人観光客への誘客プロモーション等の取組みを進めていく。

方針1

誘客促進

団体・個人誘客

+

インバウンド誘客
に向けた情報発信

観光客を惹き付ける滞在コンテンツの造成やPR強化

インバウンド等を含めた、さらなる誘客拡大に向けた取組みの推進

⑨高岡雅美プレミアムプロモーション事業

インバウンド向け体験型旅行商品「高岡雅美プレミアム」の販売促進
及び台湾をはじめとしたインバウンドに向けた情報発信

⑩高速バス・旅行商品等海外販路開拓事業

入国前に当市発の高速バスや市内観光施設等のチケットを購入できるよう
海外の旅行会社を通じた販路を確保し、本市の魅力や商品をPR

⑪雨晴駅展望デッキ整備事業

- ・高岡市観光ポータルサイトでの情報発信
観光コンテンツ・交通手段・食・土産品・モデルコースなど具体的な
情報の発信や、地元ライター・子どもライター等による魅力紹介
- ・出向宣伝事業

官民連携による観光物産PRや旅行会社との商談を実施

⑫インバウンド向け広域観光のPR動画作成及びプロモーション活動の推進

個人旅行の誘客強化・団体旅行等誘致促進

- ・北陸新幹線新高岡駅を利用する団体ツアー企画を支援
- ・高岡に関心のある方等を対象とした宿泊クーポン配布キャンペーン
- ⑮高価格帯ランチメニューの割引支援「TAKAOKA Premium lunch割」
- ・関西圏の個人観光客を対象とした誘客プロモーション

北陸地域内の交流促進

- ・沿線自治体と連携した近距離利用拡大に向けた相互PR
- ・市民会議の団体が取り組む北陸エリア等での交流事業・PR事業を支援

2次交通の利便性向上

- ・新高岡駅を発着する飛越能地域の高速バス運行継続に向けた取組みを推進
- ・城端線・氷見線の交通系ICカード導入（R7年度中）
- ・路線バス乗り放題きっぷの継続と周知拡大
- ・あいの風とやま鉄道と万葉線のICカード連携

市民の利用促進に向けた旅行意欲の喚起

- ・福祉厚生団体会員に対する関西圏等へのお得な旅行商品等のPR
- ・北陸新幹線沿線市と連携し、広報誌を活用して観光情報を相互に提供
- ・イベント等による関係団体との相互連携

実現を目指す項目

①稼ぐ観光の実現
／おもてなし力の強化

②北陸周遊における
「選ばれる場所」へ
／魅力ある商品の造成促進

③新高岡駅の利用者増
／「飛越能の玄関口」
としての認知向上

④新高岡駅の機能充実
／駅利用者の利便性・
快適性の向上

⑤新高岡駅の拠点性向上
／2次交通によるシーム
レスな移動の実現

⑥新高岡駅への往来の活発化
／市民の旅行需要の創出

方針2

周遊性の向上 広域連携

北陸・飛越能
との連携

+

広域交流の
拠点性向上

方針3

往来の活発化 送客促進

移動利便向上PR
旅行意欲の喚起